

ソフトとハードの親和性

気配り

KITのソフト屋さんとハード屋さんか仲が良いと言う話ではありません。いかに相手が作りやすく、性能を出しやすい仕様にするかです。例えば、ビデオボードのスクロール回路を作るとして、表示座標を入力させる仕様を決めるとします。オフセットとサイズを入れさせる方法と、始点と終点を入れさせる方法で、ソフト屋さんに対してどちらが親切でしょう。こんな気配りを重ねる事により、同じ機能でも設計者が変わると性能が変わるのです。



PLD開発

技術の進歩で、どんどん大規模のPLDが出現しています。お陰さまで、見た目はほとんど同じでも、それに伴い大規模の設計能力を要求されます。しかも市場のニーズから製品開発にかかる時間の削減が望まれております。そこで、理想的にはPLD開発後の基板設計が望ましい(PLDメーカーは必ず推奨します)のは承知の上で、頭で考えただけで、基板開発を先行する事が多いです。それだけのリスクを負ってもきれいな基板を作る為には、十分なノウハウが必要です。KITのノウハウは、カタログを請求していただいて御評価ください。

KIT1000

PLDお勉強&PCIカラーキャプチャーボード

まず、ユーザブルPLDに絞った仕様説明をさせていただきます。

KIT1000のユーザブルPLDは、PCIのメモリ空間上に下記の様にマッピングされております。

- 8ビットの平行出力
- 8ビットの平行入力
- 256Kロングワードのメモリ空間(データバス、32ビット中8ビット接続)

したがって、PLD内をスルーにしても簡単なPIOは実現できますし、DPRAM等を接続していただいても、メモリとしてマッピングできます。この部分も付属のWin95アプリ(Win98でも動作可)から、簡単に操作できます。更に、付属のアプリソフトは、空間フィルタや、二値の論理フィルタなど、画像処理のお勉強に必要なコマンドが直接実行できます。TIFFファイルやJPEGファイルのサポートも行ってありますので画像計測の練習にも最適です。



弊社の実績カタログを御用意しております。お気軽に御請求ください。

<http://www02.so-net.ne.jp/~kit/>

各社製品名は各社の商標または登録商標です。

Knowledge
Imaging
Technology

KIT

システム開発専門業社

株式会社

ケーアイテクノロジー

〒224-0032 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央19-1 タウンスクエア3階 TEL:045(949)5331(代) FAX:045(949)5332